

【報道関係各位】

男性の料理 実態調査 2011

- **料理をする男性は約8割。きっかけは「節約のため」が最多**
- **「お弁当作り」に興味がある男性は、3割。20代では4割**
- **夫婦円満に「夫の料理スキル」が寄与。夫も妻も料理下手、円満度合いは26%**
- **‘料理ができてカッコいい芸能人ランキング’
1位「速水もこみち」2位「SMAP」3位「向井理」**

2011年11月21日
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表：杉本哲哉）は、全国の20～59歳の男性を対象に、「男の料理 実態調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2011年10月28日（金）～10月30日（日）。有効回答数は516名から得られました。
※比較参考を目的として女性に対しても「料理に関する調査」を行いました。（有効回答312名）

【調査結果概要】

【1】料理をする男性は約8割。きっかけは「節約のため」が最多。

全国20～59歳の男性を対象に、料理をするかどうかを尋ねたところ、年に数回という人も含めて78%が「料理をしている」と回答しました。「ほぼ毎日」料理をする人は11%、「週に4～5日程度」が5%、「週に2～3日程度」が13%、「週に1日程度」が14%と、合計で週に1日以上料理をする人は43%でした。（P2）
年代別に見ると20代で料理をする男性は85%となり、他の年代に比べ5～14ポイント高くなっています。料理を始めたきっかけについて尋ねると、「お金の節約を意識して」が38%で最多、次いで「趣味のひとつにしたくて」29%「家事への参加を考えて」「一人暮らしを始めて」が各々28%でした。（P3）

【2】「お弁当作り」に興味がある男性は、3割。20代では4割。

男性に「お弁当作り」「お菓子作り」に対して興味があるかを尋ねました。「興味がある」と回答した人はお弁当作り、お菓子作りのいずれにおいても29%と3割を占めました。特に、20代ではいずれも約4割が興味を示しており、30代以上に比べ10ポイント以上高くなっています。（P6）

【3】夫婦円満に「夫の料理スキル」が寄与。夫も妻も料理下手、円満度合いは26%

既婚男性に自分と妻の料理のレベルを尋ね、夫と妻の料理レベル別に「夫婦円満」度合いを分析しました。自分（夫）の料理レベルが「普通以上」の場合は47%が「円満だと思う」と回答。夫が「料理下手・できない」場合では「円満だと思う」という回答は37%と10ポイント低くなっています。

さらに、夫婦の料理レベルの組み合わせ別にみると、「妻が料理上手で、夫も普通以上」のケースで「円満だと思う」という回答は59%、「夫婦ともに料理が上手でない」ケースでは、26%でした。

妻が料理上手であること、料理上手でない場合は夫が普通以上に料理ができることが、夫婦円満に寄与すると言えそうです。（P9）

【4】料理ができてカッコいい芸能人ランキング

1位「速水もこみち」2位「SMAP」3位「向井理」

女性に対して「料理ができてカッコいい男性芸能人」はだれか尋ねたところ、「速水もこみち」がトップで41%と圧倒的な人気でした。2位は「SMAP（もしくはメンバー）」で16%、3位は「向井理」9%でした。また、男性に対して「料理ができて素敵な女性芸能人」を尋ねると、1位「杉本彩」で6%、2位は「村上知子（森三中）」4%、3位は「江角マキコ」3%となりました。（P10）

「男性の料理 実態調査 2011」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ					
調査地域:	全国					
調査対象:	20才以上59才以下の男性(マクロミルモニタ会員)					
有効回答数:		20代	30代	40代	50代	合計
	男性	129s	129s	129s	129s	516s
	(参考) 女性	78s	78s	78s	78s	312s
調査日時:	2011年10月28日(金)～10月30日(日)					
調査機関:	株式会社マクロミル					

I. 料理の実態について

■ 料理をする男性は76%。「週に1日以上」が4割超

全国20～59才の男性を対象に、料理をするかどうかを尋ねたところ、年に数回という人も含めて78%が「料理をしている」と回答しました。「ほぼ毎日」料理をする人は11%、「週に4～5日程度」が5%、「週に2～3日程度」が13%、「週に1日程度」が14%と、合計で週に1日以上料理をする人は43%でした。

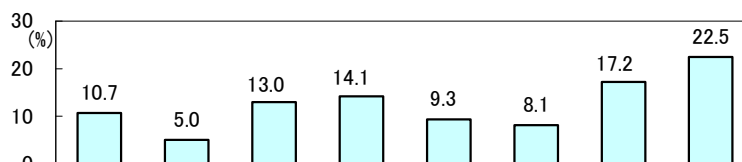
年代別に見ると「週に1日以上」料理する男性は、20代、50代が47～48%と30代、40代に比べ高くなっています。

同居形態別にみると、共働き家庭では「週に1日以上」料理する男性が37%、非共働き家庭では31%と、非共働き家庭に比べ共働き家庭のほうが7ポイント高くなっています。

また、一人暮らしの男性では「週に1日以上」が71%となっています。(図1)

【図1】料理をする頻度

Q.あなたは、料理をしますか。また、料理をする方はどのくらいの頻度で料理をしますか。
※この場合の「料理をする」は、「米を炊く」「パンを焼く」のみではなく、「調理する」ことを意味します。
※飲食店にお勤めの方など、お仕事で料理をする場合は除いてお考えください。



		ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	年に数回	全くしない	週に1日以上	料理する人
全体(n=516)		10.7	5.0	13.0	14.1	9.3	8.1	17.2	22.5	42.8	77.5
年代別	20代(n=129)	12.4	6.2	15.5	14.0	10.1	7.0	19.4	15.5	48.1	84.5
	30代(n=129)	8.5	4.7	11.6	12.4	8.5	7.0	17.8	29.5	37.2	70.5
	40代(n=129)	7.0	4.7	12.4	15.5	12.4	7.0	16.3	24.8	39.5	75.2
	50代(n=129)	14.7	4.7	12.4	14.7	6.2	11.6	15.5	20.2	46.5	79.8
同居形態	配偶者と同居(非共働き)(n=134)	6.0	2.2	7.5	14.9	9.7	11.9	25.4	22.4	30.6	77.6
	配偶者と同居(共働き)(n=123)	8.1	3.3	9.8	16.3	12.2	11.4	17.1	22.0	37.4	78.0
	独身で母親と同居(n=126)	7.1	3.2	17.5	10.3	11.9	4.8	18.3	27.0	38.1	73.0
	一人暮らし(n=101)	24.8	10.9	18.8	16.8	4.0	3.0	7.9	13.9	71.3	86.1
	その他(n=32)	9.4	12.5	12.5	9.4	3.1	9.4	9.4	34.4	43.8	65.6
<参考>2008年10月調査(n=516)		9.7	7.0	16.9	15.9	10.5	8.1	16.3	15.7	49.4	84.3

■ 男性が料理をするときは？「日常的に行っている」が41%で最多
「趣味として作りたくなったとき」「家族やパートナーの体調が悪いとき」が各々31%

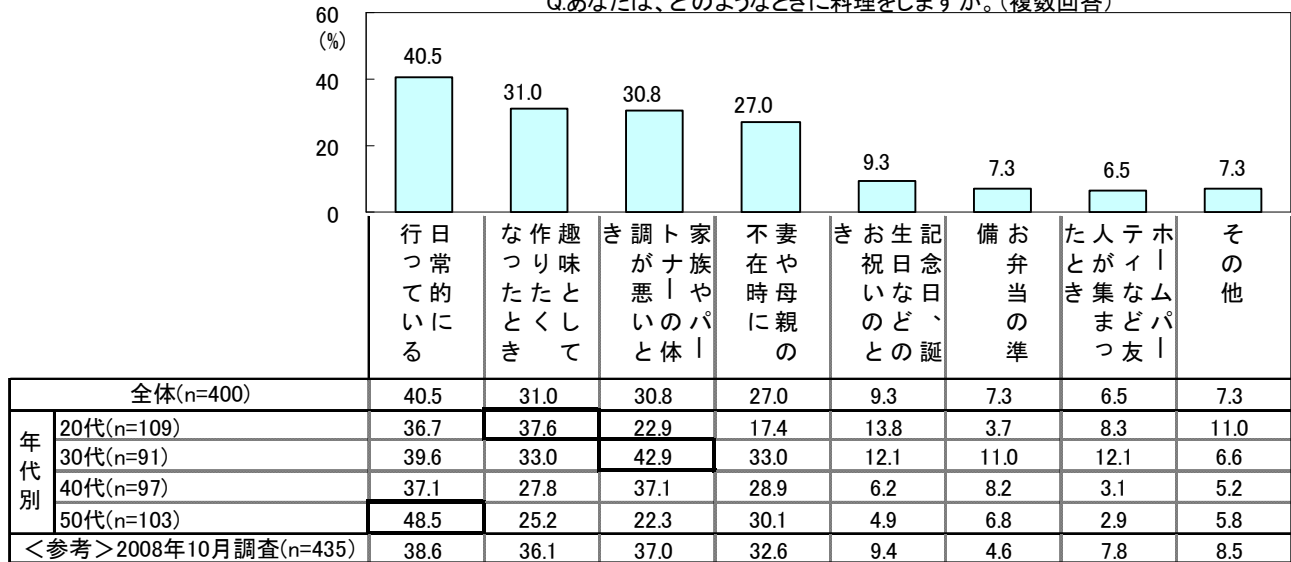
料理をする男性にどのようなときに料理をするか尋ねたところ、「日常的に行っている」が41%で最多、次いで「趣味として作りたくなったとき」「家族やパートナーの体調が悪いとき」が各々31%となりました。

年代別にみると、20代で「趣味として作りたくなったとき」、30代で「家族やパートナーの体調が悪いとき」、50代で「日常的に行っている」が他年代に比べ高く、年代によって料理をする背景が異なっているようです。(図2)

【図2】どのようなときに料理をするか

＜ベース：料理をする人＞

Q.あなたは、どのようなときに料理をしますか。(複数回答)



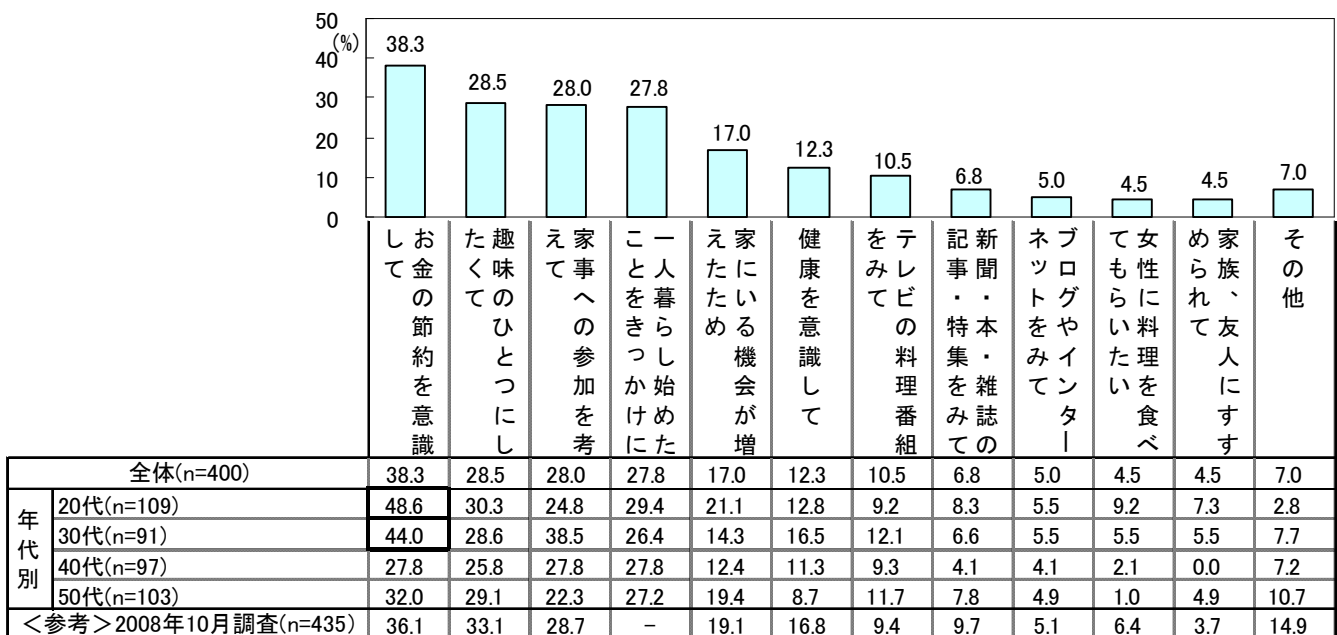
■ 料理を始めたきっかけは「お金の節約を意識して」が38%

料理をする男性に、料理を始めたきっかけについて尋ねたところ、「お金の節約を意識して」が38%で最も多くなりました。次いで「趣味のひとつにしたい」と29%、「家事への参加を考えて」が28%となりました。

年代別にみると、20～30代の4割以上が「お金の節約を意識して」料理を始めたと回答しており、他の年代に比べると高い割合になっています。(図3)

【図3】料理をするきっかけ＜ベース：料理をする人＞

Q.あなたが、料理を始めたきっかけとして、あてはまるものをお知らせください。(複数回答)



※「-」は、2008年調査において、選択肢がなかったことを示す。

■ 料理をする理由は、「節約になるから」が36%でトップ

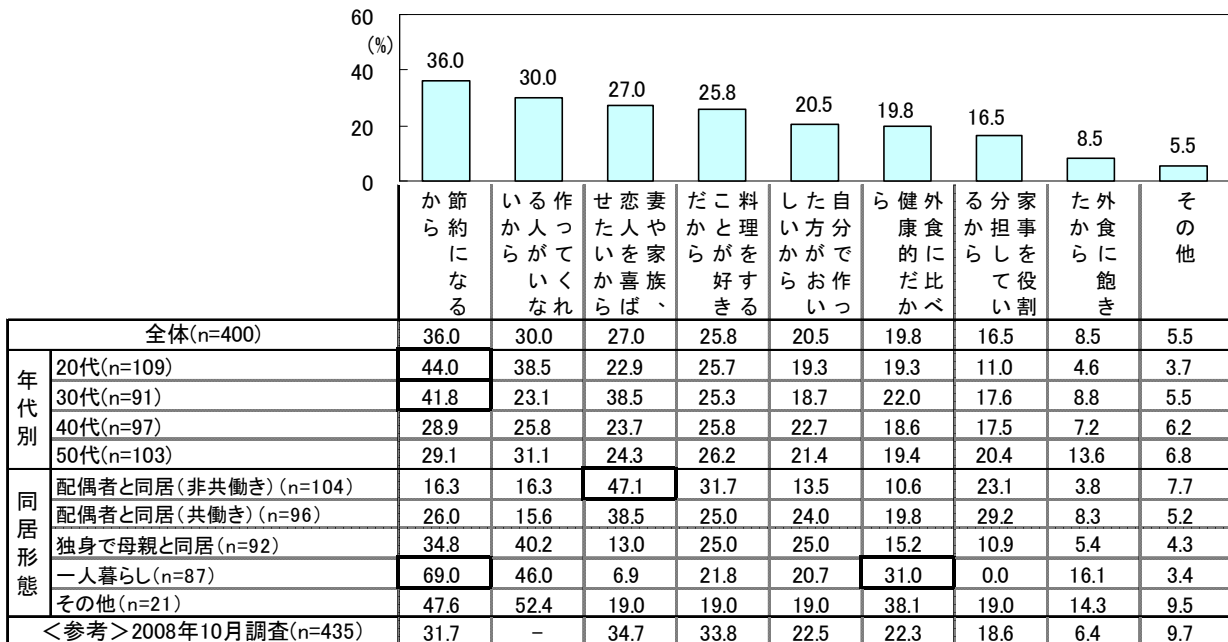
料理をする男性に、料理をする理由について尋ねたところ、「節約になるから」が36%でトップとなりました。次いで「作ってくれる人がいないから」30%、「妻や家族、恋人を喜ばせたいから」27%となっています。

年代別にみると、20～30代で4割以上が「節約になるから」と回答しており、料理を始めたきっかけ、現在料理をしている理由いずれにおいても、「節約」が大きなポイントとなっています。

同居形態別にみると、非共働き家庭では「妻や家族、恋人を喜ばせたいから」が47%と共働きの家庭に比べ9ポイント高くなっています。また、一人暮らしの男性では「お金の節約になるから」が69%、「外食に比べ健康的だから」が31%と、それぞれ他の層に比べ高い割合になっています。(図4)

【図4】料理をする理由<ベース:料理をする人>

Q.あなたが、料理をする理由にあてはまるものをお知らせください。(複数回答)



※「-」は、2008年調査において、選択肢がなかったことを示す。

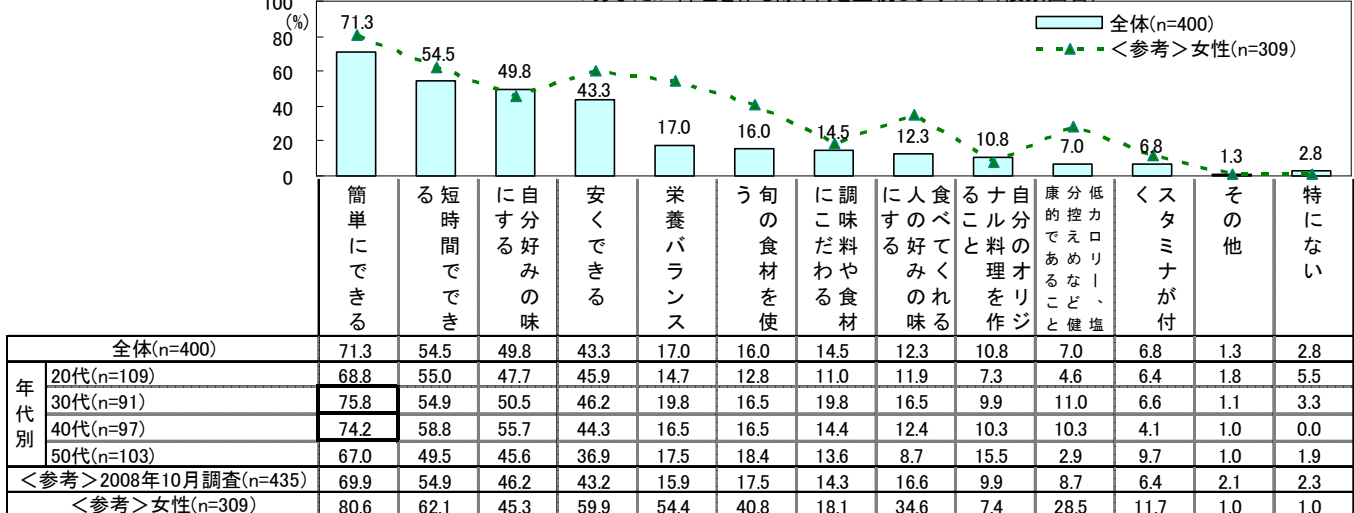
■ 料理をする際の重視ポイントは、「簡単にできる」が7割

料理をする男性に、料理をする際に重視しているポイントを尋ねたところ、「簡単にできる」が71%で最も多く、次いで「短時間でできる」が55%、「自分好みの味にする」が50%となりました。

年代別にみると、30～40代では「簡単にできる」が75%前後となっています。男女で比較すると、男性は女性に比べ「栄養バランス」「旬の食材を使う」等が20ポイント以上低くなっています。(図5)

【図5】料理をする際の重視ポイント<ベース:料理をする人>

Q.あなたが料理を作る際、何を重視しますか。(複数回答)



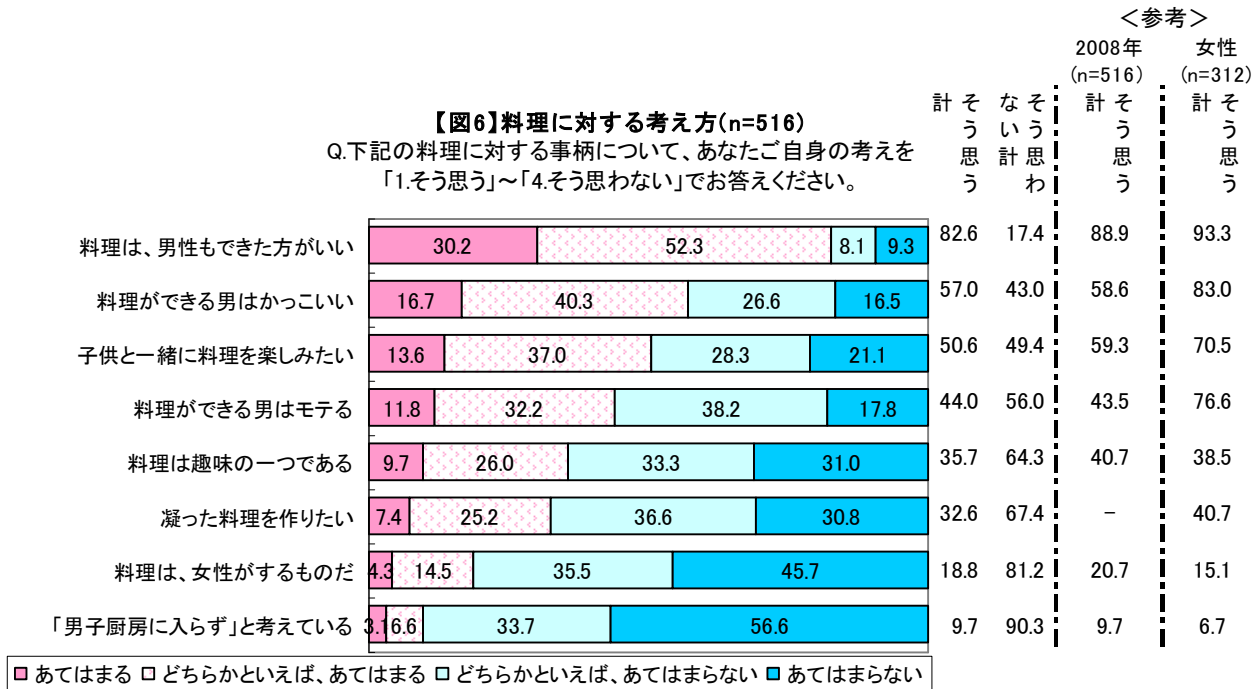
II. 料理に対する考え方・意識について

■ 男性の6割弱、女性の8割強が「料理ができる男はカッコいい」

料理に対する考え方を男性に尋ねたところ、「料理は男性もできた方がいい」は83%、「料理ができる男はカッコいい」は57%、「子供と一緒に料理を楽しみたい」は51%の男性が“そう思う(そう思う+どちらかといえばそう思う)”と回答しており、料理をポジティブに捉えている男性が多いようです。

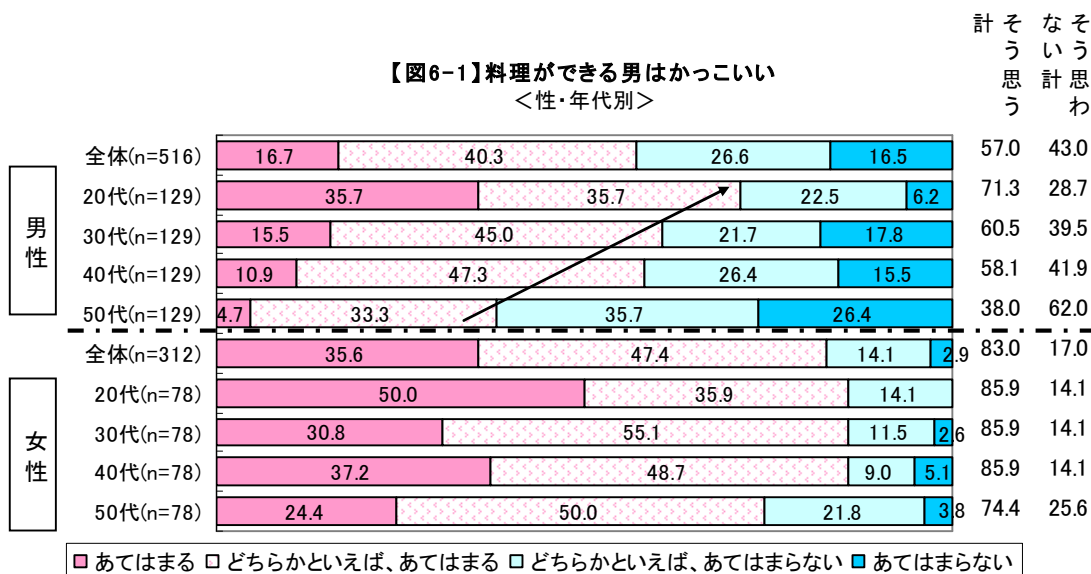
女性の参考データをみると、「料理は男性もできた方がいい」に関しては“そう思う”と回答した女性が93%となりました。また「料理ができる男はカッコいい」についても、“そう思う”と回答した女性は約83%で、女性から見ても料理ができる男性に対する好感度が高くなっています。(図6)

年代別にみると、男性では若年層ほど「料理ができる男はカッコいい」と思う人が多くなっていました。(図6-1)



※「-」は、2008年調査において、選択肢がなかったことを示す。

※四捨五入の関係であわせて100にならないことがあります。

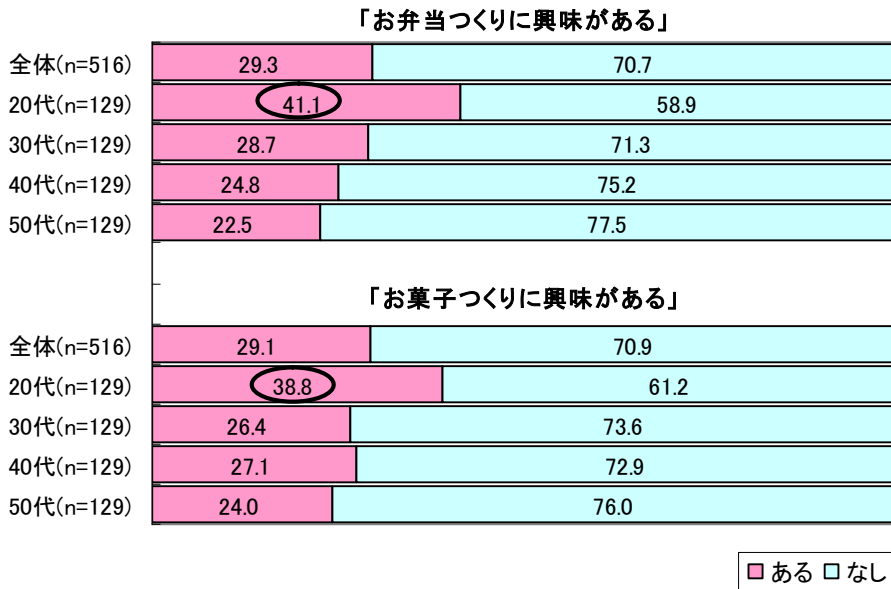


■ 男性の3割が「お弁当」「お菓子」作りに興味あり。いずれも20代では4割

お弁当作り、お菓子作りに対して興味があるかを男性に尋ねたところ、興味がある人は、いずれも29%と3割を占めました。

年代別にみると、20代ではいずれも約4割が興味あると回答しており、30代以上に比べ10ポイント以上高くなっています。(図7)

【図7】男性のお弁当作り・お菓子作りに対する興味度



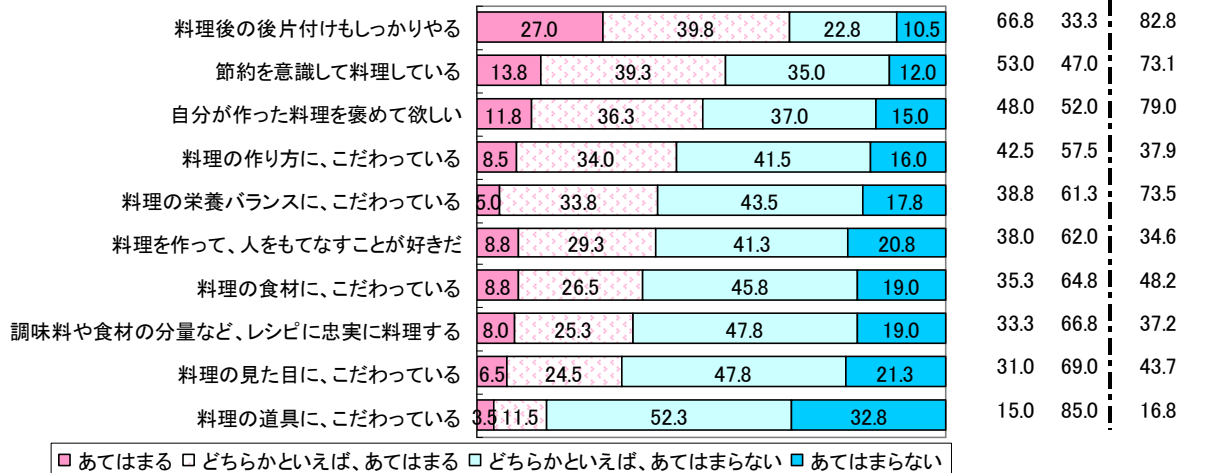
■ 約7割の男性が「料理の後片付けもしっかりやる」

料理をする男性に、料理に対する考え方や行動について尋ねたところ、67%の男性が「料理の後片付けもしっかりやる」という項目について“あてはまる(あてはまる+どちらかといえば、あてはまる)”と回答しています。女性と比較してみると、「料理の栄養バランスに、こだわっている」「自分が作った料理を褒めて欲しい」では30ポイント以上、「節約を意識して料理している」では20ポイント女性に比べ低くなっています。この結果から、男性は‘自分が食べたいもの’を作っている様子が窺えます。(図8)

【図8】料理に対する考え方

<ベース:料理をする人/n=400>

Q下記の料理に関する項目に対して、ご自身の考えを「1.あてはまる」~「4.あてはまらない」でお答えください。



※女性のベースも男性と同様、料理をする人

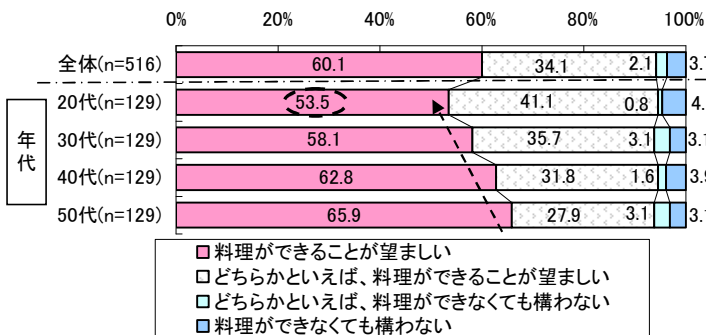
■ 若年男性ほど女性に「料理ができること」を望まない傾向

男性に女性ほどの程度料理ができるのが望ましいかを尋ねたところ「料理ができることが望ましい」という回答は 60%でした。年代別にみると、若年層ほど女性に対して料理ができることを望んでおらず、20代では 54%となっていました。(図 9)

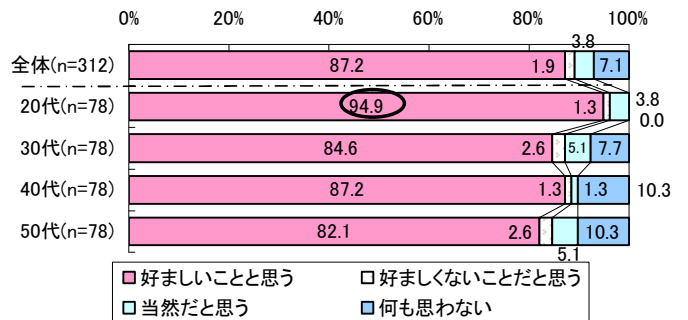
参考として、女性に「男性が料理をすること」をどう思うか尋ねたところ、「好ましい」と回答した女性は 87%でした。年代別にみると、20代では 95%と 30代以上に比べ 10ポイント前後高くなっています。(図 9-1)

上記の結果を合わせてみると、20代では‘男性が女性に対し料理ができることを期待しない分、女性が男性に対し料理ができることを期待’していることが推察できます。

【図9】女性に対して「料理ができること」をどの程度望むか
Q.あなたは、女性に対し料理ができることをどの程度望みますか。



【図9-1】料理をする男性について女性がどう思うか<n=312/ベース:女性>
Q.あなたは、男性が料理をすることに対して、どのように思いますか



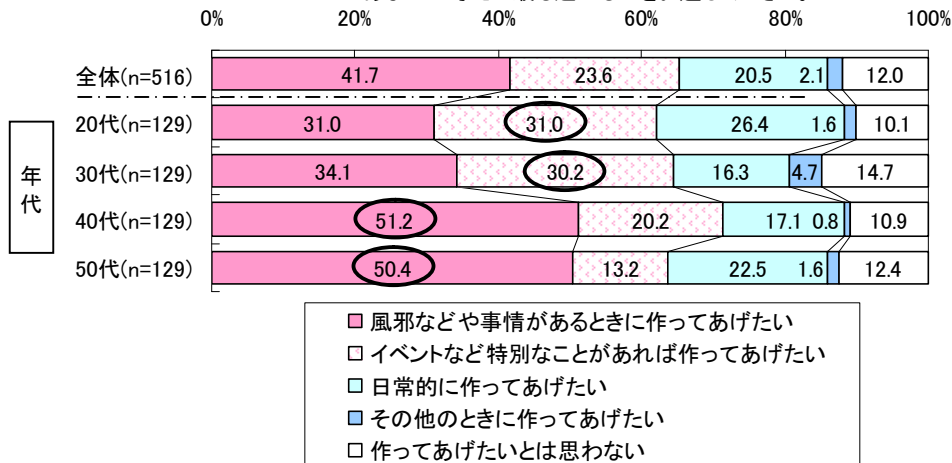
■ 「風邪などや事情があるときに妻・恋人に料理を作ってあげたい」約 4割

どのようなときに恋人や配偶者に料理を作ってあげたいと思うかを単一回答で尋ねたところ、「風邪などや事情があるときに作ってあげたい」が 42%、次いで「イベントなど特別なことがあれば作ってあげたい」が 24%、「日常的に作ってあげたい」が 21%となっています。

年代別にみると、20~30代では「イベントなど特別なことがあれば作ってあげたい」が、40~50代では「風邪などや事情があるときに作ってあげたい」が他の年代に比べ高くなっています。(図 10)

【図10】どのようなときに恋人や配偶者に料理を作ってあげたいか

Q.あなたは恋人や配偶者に料理を作ってあげたいと思いますか。
あなたの考えに最も近いものをお選びください。



■ 「恋人・配偶者の料理は嬉しい」男女ともに7割。高齢層では‘嬉しさ’減少

恋人や配偶者が料理を作ってくれたらどのように感じるか尋ねたところ、男性では「非常に嬉しい」が69%、「やや嬉しい」が28%、合わせて97%の男性が嬉しいと回答しています。

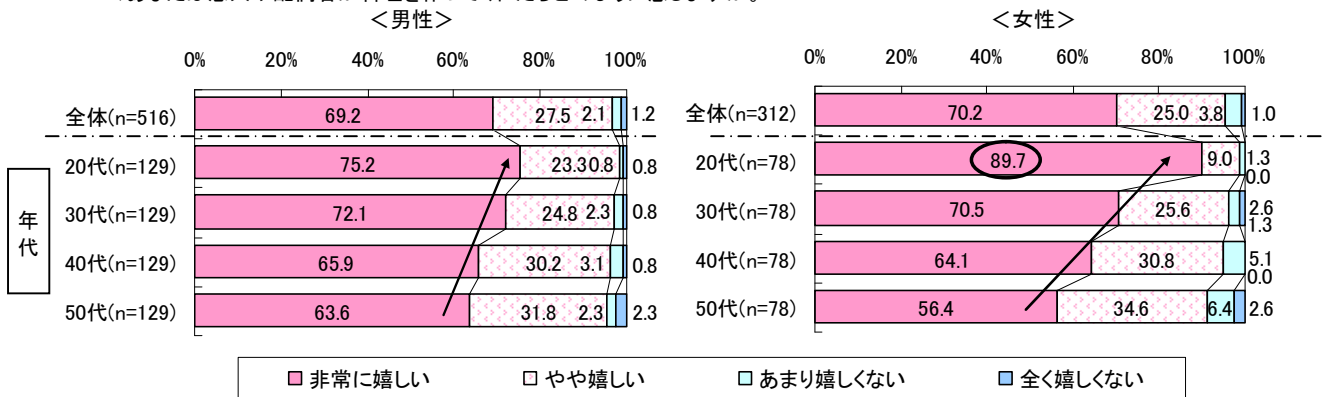
また、女性に対して同様の質問を尋ねると「非常に嬉しい」が70%、「やや嬉しい」が25%、合わせて95%の女性が嬉しいという回答でした。

年代別にみると、男女とも若年層ほど「非常に嬉しい」と回答した割合が高くなっています。女性20代では「非常に嬉しい」が90%と圧倒的に高く、50代女性では57%にとどまりました。(図11)

嬉しいと感じる理由を自由回答で尋ねたところ、多くの人が「自分のためにやってくれている」という感謝の気持ちと回答しています。

【図11】恋人や配偶者が料理を作ってくれたらどのように感じるか

Q.あなたは恋人や配偶者が料理を作ってくれたらどのように感じますか。



Ⅲ. 料理と夫婦関係について

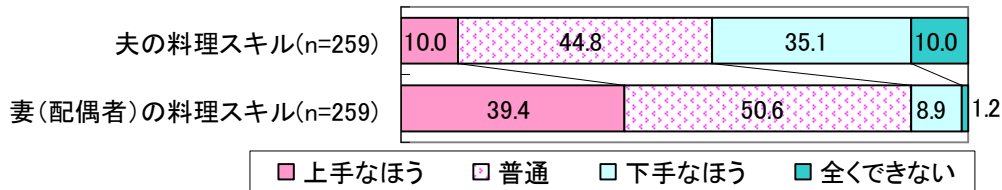
■ 既婚男性の料理レベルの自己評価、「上手」10%、「普通」45%、「下手」35%

既婚男性に、自分の料理のレベルを尋ねたところ、「上手なほう」が10%、「普通」が45%、「下手なほう」が35%、「全くできない」が10%となりました。料理スキルが普通以上の既婚男性は、55%となっています。

また、妻の料理のレベルを尋ねると「上手なほう」が39%、「普通」が51%となりました。(図12)

【図12】料理のスキル<ベース:既婚男性>

Q.あなたは、自分の料理のレベルがどの程度だと思いますか。
Q.あなたは、配偶者の料理のレベルがどの程度だと思いますか。



■ ‘妻が料理上手’なことは夫婦円満に貢献。

妻の料理が上手でない場合、‘夫の料理スキル’が夫婦円満に寄与

既婚男性に夫婦関係は円満だと思うか尋ねたところ、43%が「円満だと思う」と回答しました。

妻の料理レベル別にみると、妻の料理を「上手」と評価した夫は、57%が「円満だと思う」という回答している一方、妻の料理を「普通以下」と評価した夫では33%となっています。

夫の料理レベル別にみると、夫の料理レベルが「普通以上」では47%が「円満だと思う」と回答。夫が「料理下手・できない」場合では、37%と10ポイント低くなっています。

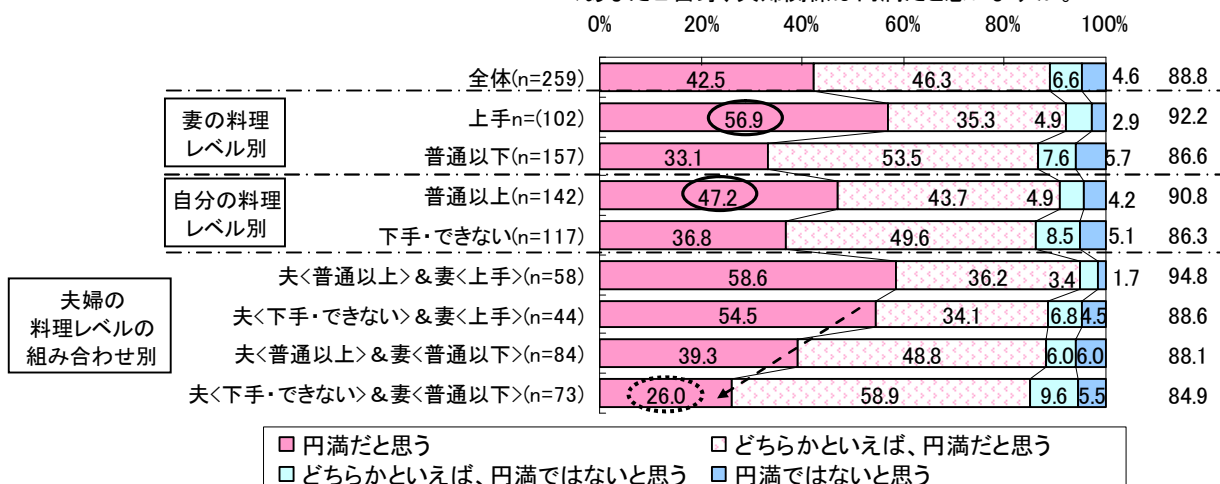
夫婦の料理レベルの組み合わせ別にみると、夫の料理レベルに関係なく、妻が「料理上手」の夫婦は「夫婦円満」度合いが55%前後でした。しかし、妻の料理のレベルが「普通以下」の場合では、夫の料理が「普通以上」で「夫婦円満」の割合は39%、夫の料理が「下手・できない」の場合、「夫婦円満」度合いは26%まで落ち込んでいます。

夫が妻の料理を「上手」と評価することは、夫婦円満に影響しているようです。また、妻が料理上手でない場合、夫が普通以上に料理ができることが、夫婦円満に寄与すると言えそうです。(図13)

【図13】「料理のレベル」と「夫婦円満」の関係
<ベース:既婚男性>

Q.あなたご自身、夫婦関係は円満だと思いますか。

(円満%計)



IV. その他

■ 料理ができてカッコいい男性芸能人：1位「速水もこみち」2位「SMAP（メンバー）」

女性に対して「料理ができてカッコいい男性芸能人」はだれか尋ねたところ、「速水もこみち」がトップで41%と圧倒的な人気でした。次いで「SMAP（もしくはメンバー）」が2位で16%、3位は「向井理」9%でした。また、男性に対して「料理ができて素敵な女性芸能人」を尋ねると、1位「杉本彩」で6%、2位は「村上知子（森三中）」4%、3位は「江角マキコ」3%となりました。（図14）

【図14】料理ができて「カッコイイ男性芸能人」「素敵な女性芸能人」

Q.「料理ができてカッコいいと思う男性芸能人」は誰ですか。（自由回答）

Q.「料理ができて素敵だと思う女性芸能人」は誰ですか。（自由回答）

～女性が選ぶ～

「料理ができてカッコいい男性芸能人」(n=312)

順位	男性芸能人	(人)	(%)
1	速水もこみち	128	41.0%
2	SMAP(もしくはメンバー)	50	16.0%
3	向井理	29	9.3%
4	グッチ裕三	27	8.7%
5	タモリ	15	4.8%

～男性が選ぶ～

「料理ができて素敵な女性芸能人」(n=516)

順位	女性芸能人	(人)	(%)
1	杉本彩	32	6.2%
2	村上知子(森三中)	21	4.1%
3	江角マキコ	17	3.3%
4	山瀬まみ	11	2.1%
5	ギャル曽根	8	1.6%

■ 女性が男性に作ってもらいたい料理ランキング、
1位「チャーハン」55%、2位「カレー」50%、3位「お好み焼き」47%

女性に対して「男性に作って欲しい料理」を尋ねました。1位が「チャーハン」55%、2位が「カレー」50%、3位が「お好み焼き」47%となりました。（図15）

【図15】女性が男性に作って欲しい料理

<ベース:女性 n=312>

Q.男性に作ってもらいたいと思う料理は何ですか。（複数回答）

順位	料理名	(%)
1	チャーハン	54.8
2	カレー	50.3
3	お好み焼き	47.1
4	パスタ	42.9
5	鍋料理	40.4
6	焼きそば	29.8
7	ラーメン	29.2
8	餃子	26.6
9	野菜炒め	25.6
10	シチュー	23.4
	ハンバーグ	

■ 男性の料理についての男女の意見

男性が料理することをどう思うか自由に記述してもらいました。男女ともに男性の料理を肯定的に捕らえている意見が見受けられました。(図 16)

【図16】男性が料理することに対する意見(自由回答／一部抜粋)

あなたは、男性が料理をするに対してどのように思いますか。具体的にお知らせください。

コメント	性別	年齢(才)	職業
「料理は女性がするもの」と思われていた時代が終わり、男性も料理をすることで、家族や友人とコミュニケーションをとれるようになったと思います。そこから「男性らしい料理」を追及することで、男性が料理を作る意義を作ることができれば、と考えます。	男性	24	学生
共働きであれば当然だと思うし子育てをしているのであれば妻の手伝いとしてやるのもありだと思う。	男性	31	会社員(技術系)
昔は男性は外で働いて家庭を女性が守るという図式があったが、現在は女性も社会で活躍する時代でもあり、万事に備えて男性も料理くらいは出来たほうがいいのかもしれないと、考えが変わってきている。	男性	40	その他
配偶者や母親が不在、病気の時、出前等でなく男性が料理できれば経費節約となる。自分で料理することで食材の栄養面での理解が深まる。夫婦なら、妻へのサービス、ねぎらいになる。	男性	54	パート・アルバイト
とてもいいことだと思う。が、凝りすぎていたり、女性より上手だったりすると、こちらがプレッシャーになる。ざっくりできるくらいが良いです。	女性	27	パート・アルバイト
自分に息子ができたら、小さいころから料理をさせたいと考えています。一人暮らしをしていて実感したことが、料理が作れないことは自分の健康を脅かすということ。これは男であっても、女であっても同じだと思います。実際適齢期に一人暮らしをしている男女があふれている時代に、男子厨房に～なんて言っている場合ではないので、男性が料理することは必然になっていると思います。	女性	34	パート・アルバイト
基本的に自分のことは自分でできる、ということは大切だと思う。また料理は創造性豊かな事柄なので、仕事にも役立つことは多いと感じる。	女性	57	自由業
とても良い事だと思う。昔は男子厨房に入らずといわれたけれど、今は共働きや独身・介護等色々な人生があり、何も女性だけの仕事ではないし、料理することは生きる活力にもなると思う。	女性	59	専業主婦

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内100万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
 本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 URL ■www.macromill.com
 設立 ■2000年1月31日
 資本金 ■16億0,037万円 ※2011年8月1日現在
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
 従業員数 ■542名 ※2011年10月末現在
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報室：大野
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

＜例＞ 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

